



2025年6月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年2月14日

上場会社名 株式会社MFS 上場取引所 東
 コード番号 196A URL <http://www.mortgagefss.jp>
 代表者（役職名） 代表取締役CEO（氏名） 中山田 明
 問合せ先責任者（役職名） 取締役CFO（氏名） 平山 亮（TEL） 03(5989)0575
 半期報告書提出予定日 2025年2月14日 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家・アナリスト・個人投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2025年6月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年7月1日～2024年12月31日）

（1）連結経営成績（累計）（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年6月期中間期	1,131	—	52	—	52	—	34	—
2024年6月期中間期	—	—	—	—	—	—	—	—

（注）包括利益 2025年6月期中間期 34百万円（—%） 2024年6月期中間期 一百万円（—%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年6月期中間期	3.85	3.85
2024年6月期中間期	—	—

（注）1. 当社は、2024年6月期中間期については、中間連結財務諸表を作成していないため、2024年6月期中間期の数値及び対前年中間期増減率並びに2025年6月期中間期の対前年中間期増減率については記載しておりません。

（2）連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
2025年6月期中間期	2,366	—	2,096	—	88.6	231.03
2024年6月期	2,421	—	2,060	—	85.1	227.15

（参考）自己資本 2025年6月期中間期 2,096百万円 2024年6月期 2,060百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年6月期	—	0.00	—	—	—
2025年6月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年6月期の連結業績予想（2024年7月1日～2025年6月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,448	29.5	91	—	82	—	48	—	5.31

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年6月期中間期	9,072,600株	2024年6月期	9,072,600株
② 期末自己株式数	2025年6月期中間期	—株	2024年6月期	—株
③ 期中平均株式数（中間期）	2025年6月期中間期	9,072,600株	2024年6月期中間期	6,372,600株

- (注) 1. 当社は、2024年3月22日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、2024年6月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数、期中平均株式数を算定しております。
2. 2024年6月期中間期の期中平均株式数には、A種優先株式、B種優先株式、C種優先株式、D種優先株式、E種優先株式、F種優先株式及びG種優先株式を普通株式と同等の株式として含めております。

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（4）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手について当社は、2025年2月14日（金）に機関投資家・アナリスト・個人投資家向けの決算説明会を開催する予定です。この説明会の資料はTDnetで開示するとともに、当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の拡大により緩やかに回復しつつも、国際情勢不安や原材料価格の高騰などにより先行きは不透明な状況です。

当社グループの属する住宅ローン市場におきましては、日本銀行の金融政策により銀行各行の住宅ローン金利に変動があったことから、住宅ローン商品に対して注目が集まる状況が継続しております。

このような事業環境の中、当社グループは、持続的な成長を目指し、主力事業であるモゲチェック事業とINVASE事業において、収益拡大と将来への投資を両立させる戦略を推進しました。具体的には、広告宣伝費およびシステム開発費用への先行投資を行うことで、事業基盤の強化を図りました。その結果、モゲチェック事業においては、収益増加とコスト削減を同時に達成し、粗利が拡大しました。INVASE事業においては、コスト削減による効率化を進めながら、将来を見据えた人材採用への投資を継続しています。これらの先行投資の効果は徐々に現れ、中長期的な成長基盤を着実に構築しています。

セグメント別の業績は、次のとおりです。

①モゲチェック事業

当中間連結会計期間におきましては、モゲチェックの住宅ローン診断を受けたユーザーに対して限定優遇金利キャンペーンを展開することで、さらなる集客数の増加を実現しました。また、モゲチェックパートナー制度については、既存の住宅ローン事業者、保険代理店、不動産事業者などとの連携の枠組みを維持しながら、上述の限定優遇金利キャンペーンを活用し、提携先を拡大してまいりました。その結果、モゲチェックサービスの集客数が約33.6万件増加（前年同期比13.1%増）し、ユーザー登録数が約2.0万件増加（前年同期比56.7%増）となりました。

モゲチェックサービスの各種指標の推移

	前々中間連結会計期間 (自2022年7月1日 至2022年12月31日)	前中間連結会計期間 (自2023年7月1日 至2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (自2024年7月1日 至2024年12月31日)
集客数 (件)	2,185,172	2,556,408	2,892,254
ユーザー登録数 (件)	30,608	34,430	53,960

モゲチェック事業の当中間連結会計期間の業績は、売上高は898,423千円、セグメント利益は245,631千円となっております。

②INVASE事業

当中間連結会計期間におきましては、金融機関および不動産業者とのパートナーシップを強化することで、新たな顧客層へのリーチを拡大し、新規顧客獲得を促進しました。また、セミナーの開催やSNS活用などの多岐にわたるマーケティング活動を継続的に展開することで、潜在顧客への認知度向上を図りました。その結果、INVASEサービスのバウチャー集客数は累計約1.8万件増加し、前年同期比で9.5%の成長を示しております。また、子会社であるコンドミニアム・アセットマネジメント株式会社における不動産仲介契約件数の増加がセグメント全体の収益改善に寄与しており、物件の契約件数は48件増加し、前年同期比46.2%の増加となりました。

INVASEサービスの各種指標の推移

	前々中間連結会計期間 (自2022年7月1日 至2022年12月31日)	前中間連結会計期間 (自2023年7月1日 至2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (自2024年7月1日 至2024年12月31日)
バウチャー集客数 (件)	270,771	184,379	201,921
バウチャー申込数 (件)	4,222	4,150	2,922
会員登録数累計 (人)	6,281	5,951	4,408
物件の契約件数 (件)	49	104	152

INVASE事業の当中間連結会計期間の業績は、売上高は232,811千円、セグメント損失は60,797千円となっております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当中間連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ54,864千円減少し、2,366,165千円となりました。これは主に、売掛金が57,247千円増加した一方で、現金及び預金が86,950千円減少、無形固定資産が12,209千円減少したことによるものです。

(負債)

当中間連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ90,065千円減少し、270,105千円となりました。これは主に、未払金が20,367千円増加した一方で、銀行借入金の返済により短期借入金が8,330千円減少及び長期借入金が100,000千円減少したことによるものです。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ35,200千円増加し、2,096,060千円となりました。これは、利益剰余金が35,200千円増加したことによるものです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)の期末残高は、1,484,850千円となり、前連結会計年度末と比較し、386,950千円減少しました。当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況と要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、35,820千円の収入となりました。これは主に、税金等調整前中間純利益52,000千円、減価償却費の増加額14,659千円、売上債権の増加による資金の減少57,247千円、未払金の増加による資金の増加28,642千円によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、301,619千円の支出となりました。これは主に、定期預金の預入による支出の300,000千円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、121,151千円の支出となりました。これは主に、借入金の返済による支出の108,330千円によるものです。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期業績予想につきましては、2024年8月14日の「2024年6月期決算短信(連結)」で公表いたしました通期の連結業績予想値から、現時点で入手可能な情報や予測等を踏まえて修正を行っております。

詳細につきましては、本日付公表の「2025年6月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,976,801	1,889,850
売掛金	246,874	304,121
その他	36,987	27,147
貸倒引当金	△1,105	△1,391
流動資産合計	2,259,557	2,219,728
固定資産		
有形固定資産	11,231	11,573
無形固定資産	95,788	83,578
投資その他の資産	48,750	46,658
固定資産合計	155,770	141,811
繰延資産		
株式交付費	5,702	4,625
繰延資産合計	5,702	4,625
資産合計	2,421,030	2,366,165

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	8,330	—
未払金	133,267	153,634
未払法人税等	24,393	28,103
その他	94,179	88,366
流動負債合計	260,170	270,105
固定負債		
長期借入金	100,000	—
固定負債合計	100,000	—
負債合計	360,170	270,105
純資産の部		
株主資本		
資本金	596,800	596,800
資本剰余金	2,932,279	2,932,279
利益剰余金	△1,468,219	△1,433,018
株主資本合計	2,060,859	2,096,060
純資産合計	2,060,859	2,096,060
負債純資産合計	2,421,030	2,366,165

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：千円)

	当中間連結会計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年12月31日)
売上高	1,131,235
売上原価	167,429
売上総利益	963,805
販売費及び一般管理費	911,299
営業利益	52,505
営業外収益	
受取利息	203
ポイント収入	528
雑収入	1,022
営業外収益合計	1,754
営業外費用	
支払利息	1,182
株式交付費償却	1,076
雑損失	1
営業外費用合計	2,259
経常利益	52,000
税金等調整前中間純利益	52,000
法人税、住民税及び事業税	15,711
法人税等調整額	1,360
法人税等合計	17,071
中間純利益	34,928
親会社株主に帰属する中間純利益	34,928

中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	当中間連結会計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年12月31日)
中間純利益	34,928
中間包括利益	34,928
(内訳)	
親会社株主に係る中間包括利益	34,928

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当中間連結会計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前中間純利益	52,000
減価償却費	14,659
株式交付費償却	1,076
支払利息	1,182
受取利息	△203
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	285
売上債権の増減額 (△は増加)	△57,247
未払金の増減額 (△は減少)	28,642
その他	△1,017
小計	39,378
利息の受取額	203
利息の支払額	△1,182
法人税等の支払額	△2,580
営業活動によるキャッシュ・フロー	35,820
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△300,000
有形固定資産の取得による支出	△2,351
敷金及び保証金の回収による収入	732
投資活動によるキャッシュ・フロー	△301,619
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	△108,330
上場関連費用の支出	△12,292
その他	△529
財務活動によるキャッシュ・フロー	△121,151
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△386,950
現金及び現金同等物の期首残高	1,871,801
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,484,850

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当中間連結会計期間(自 2024年7月1日 至 2024年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額(注1)	中間連結損益 計算書計上額 (注2)
	モゲチェック 事業	INVASE事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	898,423	232,811	1,131,235	—	1,131,235
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	898,423	232,811	1,131,235	—	1,131,235
セグメント利益又は損失(△)	245,631	△ 60,797	184,833	△ 132,327	52,505

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、グループ共通のコーポレート業務等に係る一般管理費です。

2 セグメント利益又は損失(△)は中間連結損益計算書の営業利益と一致しています。